

荏原グループ生活共済会



荏原共済ニュース

2006年3月15日

NO. 64

**荏原グループに働く仲間の助け合いの支えとなれる
ように 共済の充実と拡大・宣伝活動を進めます**

-- 2月24日 第19回運営委員会総会開かれる --

去る2月24日(金)午後より荏原共済の第19回運営委員会総会が、製作所の本社にて開かれました。参加者は役員7名、代議員15名(委任1名)、事務局4名の計26名の出席で行なわれました。

今回は例年の運営委員会総会に比して、審議する議案が盛り沢山で一部修正を加えて承認した議案もありましたが、多くは役員会の提案に沿った方針が確認されました。

内容的な特徴を紹介すると、以下のようになります。

- ①制度の一部改善を行なう規約の改訂を行ないました。
- ②荏原共済設立20周年実行委員会の設置を確認しました。



荏原共済総会の会議風景

③荏原共済の加入団体について活動中の怪我・病気保障保険に加入することを確認しました。

④今期の活動方針では、荏原グループ労連の結成への支援や荏原共済ホームページの開設などを柱にした内容を確認しました。

この中で、①制度の一部改善では、○60歳以上65歳未満のC型の加入を認める、○不就労者の通院保障でこれまであった減額措置を廃止することにしました(詳しくは裏面をご覧ください)。

また②荏原共済設立20周年の件では、総会では実行委員会メンバーと2007年12月実施の記念レセプションまでの計画予定が承認されました。実行委員会は記念行事の実施計画をまとめて、次期総会に最終案を提案することとしました。

以上のような内容を確認し、総会は新役員体制を承認して終了しました。右記に紹介する役員・団体代表者が務めます。

2006年度 役員体制

役職	氏名	団体
運営委員長	加藤 勝稔	荏原金属
副運営委員長	小林 均	荏原製作所
	中山 淳	荏原ハマダ
	桜田 芳之	荏原テクノサーブ
	磯谷 英昭	荏原ハイト・ロテック
	横山 大輔	荏原フィール・テック
会計監査	宮崎 正美	荏原金属
	津川 卓也	荏原製作所
事務局長	水村 明	荏原製作所
団体代表者	仲島 彰信	荏原製作所
	寺田 直道	荏原金属
	黒宮 健二	荏原ハマダ
	岡野 正一	荏原テクノサーブ
	古角 誠章	荏原ハイト・ロテック
	田口泰次郎	荏原フィール・テック

お知らせ

- ①2月に証書を発行しました。内容を確認し、訂正があるようでしたら事務局に連絡ください。
- ②健康記念品は3月末以降に配布します。今年は前年に比し給付が多くなった関係で記念品額は少なくなりました。



●第19期の年間活動計画●

荏原共済の今期の活動計画は以下の通りです。

この計画に沿って、1年間の活動を進めていきますので、
よろしくお願いします。

2006年 4月	役 員 会 ◇活動計画の確認 ☆新入社員へむけた加入案内を配布 ☆昇格者の方への継続加入のお願い
5月	中旬 「共済ニュース」 発行
6月	ポスター用写真 「募集開始」 定年者へのご案内
7月	団体代表者会議 ◇後半の活動計画 他 中旬 「共済ニュース」 発行
8月	加盟団体の組織人員の確認
9月	役 員 会◇各加盟団体の役員体制の確認、他 中旬 「共済ニュース」 発行
10月	荏原共済学習会
11月	荏原共済加入拡大月間 初旬 「共済ニュース」 発行
12月	団体代表者会議 ◎ 総会準備
2007年 1月	第20期スタート 中旬 「共済ニュース」 発行 ☆証書発行
2月	第20回運営委員会総会 ◇設立20周年実施計画の確認 加盟団体の組織人員の確認
1月	中旬 「共済ニュース」 発行 【健康記念品配布】

○期間全体を通じての力点

1. 関連の未加入労組・従業員会へ加入の働きかけをします。
2. 荏原共済設立20周年の行事計画を作成します。
3. 共済制度の見直しと制度改善を検討します。
4. 共済ニュースを2ヶ月に1回発行します。
5. 荏原共済ホームページを開設します。

総会で確認された 制度改善の紹介

◇60歳以上65歳未満の方の加入が出来るようになりました ただしC型（入院・休業通院）のみの加入です。

これまで継続加入できる本人に限って認められてきた
ものですが、今回から本人でも加入者の家族であって
も、新規加入が出来ることになります。

なお、この加入にあたっては掛金がチェックオフ（給
与天引き）できることが条件となります。
（06年4月1日からの実施となります）

◇個人共済の給付、不就労者の休業通院給付を 60日から90日に改善

現行の給付基準では、不就労者の休業通院給付は就労
者の2/3の60日という減額措置が講じられていました。
この減額措置について今回廃止をしたことから、就労者
と同日数の90日まで休業通院の給付が受けられます。

その際、安静加療を要するという医師の診断書は、**荏
原共済書式のもの**を提出していただくことになります。
（06年4月1日からの実施で、給付事由発
生が4月1日以降とします）

上記について、お問い合わせや御質
問がありましたら、共済事務局（製作所
羽田：鎌田 6093 同藤沢：斉藤 8097）ま
でお願いします。



2006年度事業予算

収入の部

共済	組織掛金	18,600,000
掛金	個人掛金	69,000,000
再共済	組織	2,000,000
還元金	個人	0
労働共済戻り金		2,000,000
受取利息		50,000
積立金戻入		8,750,000
前期繰越金		615,203
合 計		101,015,203

支出の部

再共済	組織	5,200,000
掛金	個人	19,000,000
共済	組織	10,700,000
支払金	個人	40,000,000
異常危険準備金繰入		1,000,000
制度改善準備金繰入		100,000
個人健康記念金繰入		3,500,000
大型機器等取得積立金繰入		200,000
記念行事積立金繰入		1,000,000
人件費		4,500,000
活動費	会議費	1,000,000
	旅費交通費	800,000
	行動費	500,000
	役員活動費	500,000
	団体活動補助	350,000
加入拡大還元金		300,000
広告宣伝費		2,500,000
印刷費		600,000
通信費		200,000
事務用消耗品費		100,000
雑費		80,000
事務手数料		500,000
健康記念品		6,650,000
団体活動保険料		800,000
備品購入費		200,000
予備費		735,203
合 計		101,015,203